

## 校内弁論・ディベート大会

12月23日(月)に校内弁論・ディベート大会がおこなわれました。弁論部門は1・2年生が対象であり、各学年での予選会から選抜された生徒が代表として発表しました。各代表生徒とテーマは以下の通りです。

### ～ 1年生 ～

		
「差別・偏見のない世界」 加藤 ひな乃 (福島市立矢野目小学校出身)	「命よりも大切なものはない」 國分 桃 (郡山市立大成小学校出身)	「みんなが愛される世界へ」 藤原 寧々 (川俣町立富田小学校出身)

### ～ 2年生 ～

		
「蛙鳴蟬噪の撲滅と、 エゴのビジュアル化」 金澤 右京 (福島市立三河台小学校出身)	「一欠片のチョコレート」 高橋 ゆりか (福島市立鳥川小学校出身)	「最後の命の選択肢」 松井 美空 (福島市立瀬上小学校出身)

最優秀賞の「一欠片のチョコレート」は、依然として子どもが過酷な労働を強いられている国がある中で、フェアトレードの意義と必要性を訴える弁論でした。クラス予選を通過してきているだけに、みんなすばらしい弁論でした。

中学3年生のディベートマッチは、「日本は救急車の利用を有料化すべきである。」を論題におこなわれました。特に、肯定側②の立論と否定側③の立論は真っ向からぶつかる形となり、熱い論戦となりました。

**肯定側立論 (3分)**  
①医療器具を充実させることができる。  
②救える命を増やすことができる。  
③自治体の一般財源が増え、行政サービスを充実させることができる。

**否定側立論 (3分)**  
①経済的弱者や高齢者が利用できない。  
②支払者が特定できない場合がある。  
③多くの人の命が助かる。

**作戦タイム (1分)**  
肯定側質問 (2分)  
否定側質問 (2分)  
肯定側回答 (1分)  
否定側回答 (1分)  
作戦タイム (3分)  
肯定側結論 (3分)  
否定側結論 (3分)

肯定側の立論

否定側の立論

作戦タイム!

肯定側 質問の嵐!

否定側の結論!

否定側 負けじと応答!

肯定側の結論!

判定タイム!  
結果は肯定側の勝利!

互いの健闘を讃え合いました

プレゼンテーション能力はこれからの社会では不可欠な能力とされています。AIが大きな割合を占めていく一方、私たち人間としては、一人ひとりが自分の意見を持ち、しっかりと伝えていく姿勢と力を養っていかねばならないと考えています。